

区分	専門分野	単位	3単位
科目名	老年看護学実習	時間数	90時間
講師名	専任教員	履修学年	2年次
概要	施設における高齢者の生活状況を知り、生活援助の実際を通し高齢者の理解を深める。同時に健康障害を持つ老年期にある対象の健康上の問題に応じた看護を実践できる基礎的能力を養う。		
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 加齢に伴う特徴を踏まえて老年期の対象を理解できる。 2. 高齢者の特性を踏まえ、生活の場としての介護施設の特性が理解でき、日常生活援助を指導のもと実施することができる。 3. 健康障害が個人（高齢者）に与える影響を、知識を統合し理解できる。 4. 多職種との連携・協力の重要性が理解できる。 5. 自己の看護活動の場面を振り返り、対象に応じたコミュニケーションがとれる。 		
授業内容（実習内容）			
<p>実習場所：（施設実習）</p> <p style="padding-left: 2em;">グループホーム・介護老人保健施設・特別養護老人ホーム</p> <p style="padding-left: 2em;">・介護老人福祉施設 ・地域密着型特別養護老人ホームの施設7か所</p> <p>（病院実習）</p> <p style="padding-left: 2em;">市内病院の5か所</p> <p>実習方法：老年看護学実習オリエンテーション（2h）</p> <p style="padding-left: 2em;">施設実習では高齢者の生活援助を実践する（28h）</p> <p style="padding-left: 2em;">病棟実習では受け持ち患者を持ち看護過程の看護実践を行う（56h）</p> <p style="padding-left: 2em;">学内実習：臨地実習終了後に学内でグループワークを行い体験の共有する（4h）</p>			
成績評価の方法			
出席状況、実習目標の達成度、実習姿勢、記録物による総合評価			
備考			
<p>実習準備・オリエンテーションを実習開始前に行う。</p> <p>実習前に課題レポートを提出する。</p> <p>実習期間中は、自己の健康管理に十分留意する。</p>			